



2021年11月11日

各 位

会 社 名 株式会社ピーシーデポコーポレーション  
 代表者の 代表取締役社長 野 島 隆 久  
 役職氏名 執 行 役 員  
 (コード番号 7618 東証一部)  
 問 合 せ 先 取締役執行役員 松 尾 裕 子  
 総合リレーション室長  
 TEL 045-472-9838

### 2022年3月期第2四半期業績予想と実績との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は2021年8月12日に公表した2022年3月期(2021年4月1日~2022年3月31日)第2四半期(累計)業績予想と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。  
 また、最近の業績動向を踏まえ、2022年3月期通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績値との差異(2021年4月1日~2021年9月30日)

(単位:百万円、%)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 連結当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	19,000	750	800	550	10.90
実績値(B)	16,465	609	652	392	7.77
増減額(B-A)	△2,534	△140	△147	△157	—
増減率(%)	△13.3	△18.7	△18.4	△28.6	—
(参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	19,266	1,730	1,768	1,204	23.91

#### 2. 2022年3月期通期連結業績予想の修正(2021年4月1日~2022年3月31日)

(単位:百万円、%)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 連結当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	38,600	2,200	2,250	1,450	28.74
今回修正予想(B)	33,800	970	1,050	500	9.90
増減額(B-A)	△4,800	△1,230	△1,200	△950	—
増減率(%)	△12.4	△55.9	△53.3	△65.5	—
(参考)前期実績 (2021年3月期通期)	38,312	2,893	2,935	1,854	36.79

### 3. 差異及び修正の理由

#### (1) 第2四半期（累計）連結業績

社会のデジタル化を好機と捉え「サブスクリプションモデル」へ変化を加速する過程において、一般顧客向け商品販売の広告宣伝を大幅に縮小したため、商品販売及び技術サービス売上高が減少いたしました。また、コロナ禍における対応として、前期末には商品在庫を多く取り揃えましたが、当第2四半期連結累計期間において在庫の適正化を図る過程において、売価及び棚卸商品時価の見直しを行った結果、売上総利益が減少しました。

販売費及び一般管理費については、必要な人員の採用不足や人員配属の遅れなどの理由により人員が充足しなかったこと、一般顧客向けの宣伝を減らしたため、販売促進にかかる費用全般が計画を下回りましたが、売上総利益の減少を補うことができず、営業利益、経常利益並びに親会社利益に帰属する四半期純利益はいずれも計画を下回りました。

#### (2) 通期連結業績

一般顧客向け商品販売を中心とした広告宣伝などは引き続き縮小すること、会員向けサブスクリプションに重きをおくことから商品の売上高が減少する見込みです。

また、商品在庫においてもビジネスモデルの変化に合わせた適正化を継続することから、商品販売の利幅が低下する見込みです。これらの要因により、売上総利益が減少する見込みです。

販売費及び一般管理費については、現在のデジタル化への変化に対応すべく、今後の会員家族との価値創造ネットワークづくり「Key Station 構想」を進めていくための費用として、本社の移転、構想実現のために多様な経験を持つ専門家からの助言に対するアドバイザーフィーや設備及びシステム投資、人材投資など、成長投資を積極的に進めていくことから販売費及び一般管理費は前回の予想を上回る見込みとなり、営業利益は、22億円から9億70百万円となる見込みです。

また当期純利益については、営業利益が減少することに加え、特別損失に本社移転関連費用を見込んだ結果、14億50百万円から5億円となる見込みです。

以 上